

学校訪問シリーズ 10

津久見市立堅徳小学校から学ぶ

学校の教育目標「夢や目標をもち、よく考え学び合い、心豊かでたくましく生きる児童の育成」を達成するため、目指す子ども像を「自考自学 ～自分で考えて、自分で学ぶ～」とし、育成を目指す資質・能力を「言葉を通じて伝え合う力（思考力・判断力・表現力）」と定め、校内研究と連動しながら、組織的、計画的に取り組んでいます。



学校経営から学ぶ

学校評価の4点セットについては、全国や県の学力状況調査や自校のアンケート等、根拠となるデータから丁寧に分析をされ、達成指標や取組指標を発展的に改善しています。

さらに、連動する「学力向上プラン」等も見直し、授業改善テーマとの関連を深めることで、より取組が焦点化され組織的な実践へと発展しています。

授業から学ぶ

本校では「考えを出し合い、生き生きと学び合う子どもの育成」の授業改善テーマと定め、自力解決の場、学び合いの場を設定し、さらに、ふりかえりも視点を定めた授業を行っています。

どの教室も、めあてや課題が明確で、特に、低学年の算数では、子ども達は自分の思いや考えを積極的に発言したり、その発言を静かに最後まで聴いたりする姿がとても印象的でした。

今後は指名の仕方を、挙手→指名だけでなく、短時間の学び合い→列指名等を取り入れることで、挙手をした子どもだけでなく多くの子ども達に発言の機会を与えられると思いました。



NO.141 2022年9月 津久見市立堅徳小学校

表現力

最初から上手くはいかない。だから、真剣に何度も練習する。失敗はない。全て経験だ。



NO.140 2022年9月 津久見市立堅徳小学校

生き生き学ぶ

楽しみながら学ぶから、わかるようになる。わかるようになると、もっと楽しく学ぶことができる。



NO.139 2022年9月 津久見市立堅徳小学校

積極挙手

腕をまっすぐに伸ばし、指先をそろえると、背筋が伸びてくる。そして、自信が満ちあふれる。



NO.138 2022年9月 津久見市立堅徳小学校

優しい視線

友達の発言を、最後まで静かに聴き、理解しようとする。そんな学級だから、発表ができる。